

経済・金融 フラッシュ

改善続く米ISM指数 ～製造業は6年ぶりに60台を回復

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

1、製造業指数が60.4と約6年ぶりの60台回復に～非製造業指数は横ばい

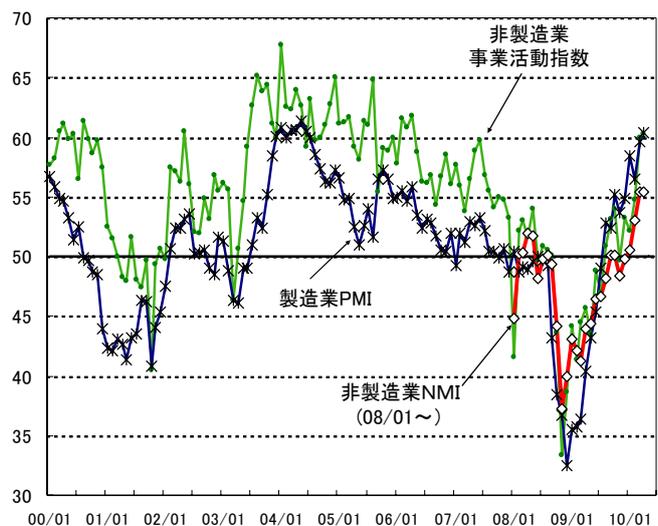
企業のセンチメントを示すISM(米供給管理協会)指数は、4月製造業指数(PMI)が60.4と3月(59.6)から0.8ポイントの上昇、市場予想値(60.0)を若干上回り、2004年6月(60.5)以来の高水準となった。4月指数の内訳では、生産指数が66.9と前月より5.8ポイントの上昇となり、PMI上昇に寄与が大きかった反面、在庫指数が49.4と前月より▲5.9ポイントの下落を見せて50を割り込みPMIを押し下げた。

PMIは、2008年12月に32.5と近年の低水準を記録したが、その後、昨年8月には製造業の拡大・縮小の分かれ目となる50台を回復、今回で50越えは9ヵ月連続となった。発表元のISMでは、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目(GDPのゼロ成長)は42.0であり、4月PMIは実質GDP年率6.2%に該当する高水準としている。

一方、4月の非製造業指数(NMI:注)は55.4と3月と同値となり、市場予想の56.0を下回った。ただし、4ヵ月連続で非製造業業況の分かれ目となる50を上回り、NMI発表以来の最高値である3月水準を維持した。NMIは金融危機直後の2008年11月に37.2まで急低下後、昨年9月には50台を回復、その後は一進一退の動きを見せていたが、本年2月以降、上昇を鮮明化していた。

ISM両指数(PMIとNMI)の比較では、金融危機後の落ち込みはPMIが大きかったものの、昨年7月以降は10ヵ月連続でPMIが上回るなど、製造業の改善が先行した形となっている。非製造業の回復の遅れには、個人消費の抑制や住宅バブル崩壊、金融危機等の影響が、サービス業や金融、不動産・建設等に重石となったことを窺わせる。しかし、4月NMIは前月と同水準ながら、事業活動指数が4年ぶりの高水準を回復するなど、企業の業況は、製造業を非製造業が追随する形で、全般的な改善を見せつつあると言えよう。

(図表1) ISM指数の推移(月別)



(資料) Institute for Supply Management、以下も同じ。

(注:NMI(=Non-Manufacturing Index) は、2008年1月より非製造業指数の総合指数として発表開始。事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延の各指数の均等ウェイトで構成される。なお、試算ベースでは4月NMIは2006年5月以来の高水準となる。)

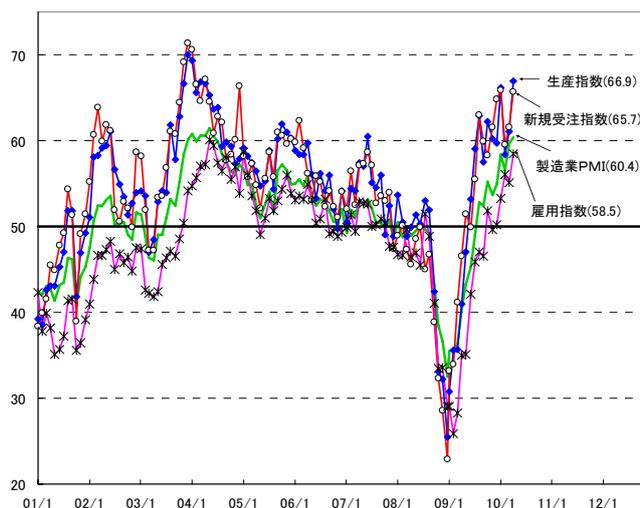
(各指数別内訳の動向)

2、製造業各指数では、新規受注、生産指数が上伸

PMIを構成する主要5指数(新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫)の前月比を見ると、生産指数が5.8ポイント(61.1→66.9)、受注指数が4.2ポイント(61.5→65.7)と上昇が大きく、生産指数は2004年1月(69.3)以来の高水準となった。その他、雇用指数も3.4ポイント上昇して58.5となり、2005年1月(58.7)以来の水準を回復した。半面、在庫指数が▲5.9ポイント、入荷遅延が▲3.6ポイントの下落となった。上記以外の指数では、顧客在庫指数の急低下(39.0→33.0と▲3.6ポイント低下)が目立った。

4月製造業の各指数は、在庫関連の2指数を除く全ての指数が57.5以上となるなど、製造業の業況が活況にあることを示している。各指数の動向から、高水準の受注を受けて、在庫が急減、生産を高めている状況が窺われ、製造業では雇用にも波及しつつあるようだ。在庫が急減していることから、当面、こうした状況が維持されると思われる。

(図表2) ISM製造業主要指数の推移(月別)



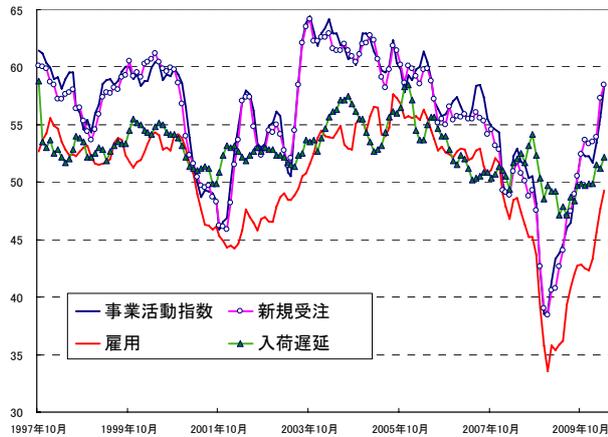
注:()内の数値は2010年4月値

3、非製造業各指数では、まちまちの動きながら、全般的な底上げが持続

4月非製造業各指数の動きを見ると、総合指数(NMI)を構成する主要4指数(事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延)は、入荷遅延指数が4.0ポイント、事業活動指数が0.3ポイント上昇した半面、新規受注指数は▲4.1ポイント、雇用指数が▲0.3ポイント下落とまちまちの動きとなった。なお、事業活動指数は60.3となり、2006年4月(61.8)以来となる高水準に上昇した。

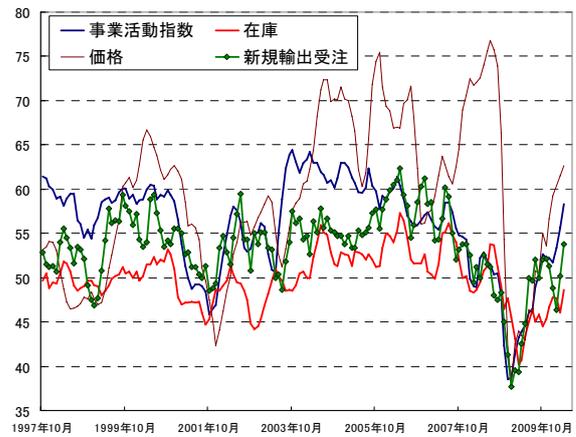
その他の指数では、在庫指数が8.0ポイント(54.5)、輸入指数が5.5ポイント(56.5)と上昇が大きかった半面、受注残指数が▲6.0ポイント(49.5)と下落が大きかった。全体では、60台が2指数に留まるなど、製造業(60台は5指数)の活況とは一段低い水準にあることは否めないが、全指数の最低値が49.5(雇用指数と受注残指数)に切り上げられるなど全般的な指数水準の底上げが続いており、非製造業のセンチメントの改善が進展していることが窺われる。

(図表3) I S M非製造業各指数の推移(その1)



注：3ヵ月移動平均

(図表4) I S M非製造業各指数の推移(その2)



注：3ヵ月移動平均

(図表5) I S M指数：製造業と非製造業各指数の一覧

製造業指数																	
	09年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	10年 1月	2月	3月	4月	3→4月 変化幅
P M I	35.5	35.7	36.4	40.4	43.2	45.3	49.1	52.8	52.4	55.2	53.7	54.9	58.4	56.5	59.6	60.4	0.8
新規受注	33.2	33.9	41.2	46.5	51.4	49.9	55.5	63.0	59.9	58.3	61.5	64.8	65.9	59.5	61.5	65.7	4.2
生産	30.8	35.6	35.7	41.0	47.0	53.2	59.0	62.9	57.5	62.2	60.2	59.7	66.2	58.4	61.1	66.9	5.8
雇用	29.0	25.9	28.3	35.0	35.1	42.1	45.9	47.0	46.5	51.8	49.6	50.2	53.3	56.1	55.1	58.5	3.4
入荷遅延	45.9	46.6	44.4	45.9	50.0	50.5	51.7	56.0	56.8	56.3	55.7	56.8	60.1	61.1	64.9	61.3	▲ 3.6
在庫	38.4	36.7	32.3	33.7	32.7	30.9	33.3	35.0	41.2	47.3	41.4	43.0	46.5	47.3	55.3	49.4	▲ 5.9
顧客在庫	55.5	51.0	54.0	49.5	46.0	43.5	42.5	39.0	39.0	38.5	37.0	35.0	32.0	37.0	39.0	33.0	▲ 6.0
価格	29.0	29.0	31.0	32.0	43.5	50.0	55.0	65.0	63.5	65.0	55.0	61.5	70.0	67.0	75.0	78.0	3.0
受注残高	29.5	31.0	35.5	40.5	48.0	47.5	50.0	52.5	53.5	53.5	52.0	50.0	56.0	61.0	58.0	57.5	▲ 0.5
新規輸出受注	37.5	37.5	39.0	44.0	48.0	49.5	50.5	55.5	55.0	55.5	56.0	54.5	58.5	56.5	61.5	61.0	▲ 0.5
輸入	36.5	32.0	33.0	42.0	42.5	46.0	50.0	49.5	52.0	51.0	51.5	55.0	56.5	56.0	57.0	58.0	1.0
非製造業指数																	
N M I	43.1	42.1	41.2	43.9	44.4	46.4	46.7	48.2	50.1	50.1	48.4	49.8	50.5	53.0	55.4	55.4	0.0
事業活動	44.1	41.3	44.5	45.7	43.6	48.8	47.0	50.9	53.2	54.0	49.6	53.2	52.2	54.8	60.0	60.3	0.3
新規受注	41.6	41.3	39.4	47.4	45.4	48.4	48.6	50.0	53.1	54.2	53.7	52.0	54.7	55.0	62.3	58.2	▲ 4.1
雇用	35.4	37.9	32.8	36.9	38.9	42.2	41.3	42.8	44.1	41.7	41.7	43.6	44.6	48.6	49.8	49.5	▲ 0.3
入荷遅延	51.5	48.0	48.0	45.5	50.0	46.0	50.0	49.0	50.0	50.5	48.5	50.5	50.5	53.5	49.5	53.5	4.0
在庫	41.5	39.0	40.0	43.0	47.0	45.0	47.0	43.0	47.5	43.0	45.5	51.5	46.5	45.0	46.5	54.5	8.0
価格	42.1	48.9	40.8	40.6	47.4	51.2	39.7	61.5	50.2	53.4	57.1	59.6	61.2	60.4	62.9	64.7	1.8
受注残高	37.5	36.5	41.0	44.0	40.0	46.0	42.0	41.0	51.5	53.5	48.5	48.0	45.5	46.0	55.5	49.5	▲ 6.0
新規輸出受注	39.0	40.0	39.0	48.5	47.0	54.5	47.5	54.0	48.5	53.5	54.5	46.0	46.0	47.0	57.5	57.0	▲ 0.5
輸入	40.5	39.0	37.0	48.5	46.0	47.0	45.0	49.0	51.5	46.0	46.0	52.5	47.0	48.5	51.0	56.5	5.5
在庫セメント	62.5	66.5	60.0	62.5	62.5	67.0	62.5	67.5	62.0	63.5	61.5	61.0	64.5	60.0	52.5	53.5	1.0

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。